

足立健康友の会 かばら支部ニュース

第110号

2017年9月21日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

核兵器禁止めざし世界から 原水爆禁止2017年世界大会 被爆体験が若い世代に引き継がれる

去る8月31日(木)夕方、かばらデイサービスセンターで「原水爆世界大会参加者報告会」が開かれました。

この報告会には友の会員の、蒲原診療所グループの職員合わせて39人が参加。代表



表二人の参加報告、被爆体験者の話などがあり、みんなで熱心に耳を傾け合いました。

強かった」と感想を述べました。二人目の代表は大谷田の友の会役員さんのお孫さんで大橋元気さん。「祖母からいい機会だから、と言われて参加して来ました」と切り出し「被爆者の話の中で私たちが高齢者はあせつていない。これだけの若い人達が耳を傾けてくれて、私たちの体験をつなごうとしてくれてる」と言ってくれて貴重でした」と言っていました。

被爆者の方のお話は、綾瀬在住の柿沢敏雄さん(84歳)です。爆心地から1.2キロの地点で原爆に会いました。その生々しい体験は、実際にその場に居なければ語れないものばかりで、参加して聞いた皆さんが「原爆は絶対にいけない」と心に刻むことになりました。

この会では財政報告も友の会役員の川名さんが行い、1年間の「平和活動」が活発に行われた証明で繰越金が多くなったことなどが話されました。

今年は軽食をはさんでの報告会で平和をかみしめる良い機会となりました。

報告 嶺岸 宏

拡大強化月間 足立学習会 みさと健和病院 友の会の経験を学ぶ

去る9月9日(土)。10月から全国の民医連の共同組織で取り組まれる「拡大強化月間」を前に、足立健康友の会の4支部が集まり「学習会」が開かれました。この学習会では三郷市にある「健和友の会」の細川事務局長をお招きして、その活動の

く、地域のブロック単位で活動を展開していることが分かりました。この辺りの事情も取り組みが大きく広がる要素だと感じました。この講演の後、足立4支部の「拡大強化月間」にのぞむ発言がありました。かばら支部からは小川副支部長が「支部の月間方針」を述べ、諸課題の推進を話しました。

報告 かばら支部役員会



健康チャレンジに申込みしよう

10月より友の会員が積極的に「健康づくり」に取り組む健康チャレンジの運動が始まります。この健康チャレンジは毎日の血圧測定からウォーキング、筋力トレーニングなどから、禁煙や

食事の制限などで幅広く取り組まれるものです。すでに「健康チャレンジ」のお知らせのチラシは「下町の健康」に折り込み、お届けしてあります。もう一度、ご覧になって希望する項目にチャレンジしてください。

かばらデイサービスセンター 皆様の温かいご支援とご協力で15周年



ボランティアさんのフラダンスショーや、目の前で天ぷらを揚げて出来立てを召し上がる食事

会などありましたが、その中でも催まで職員が何日間も練習

月日が経つのは早いもので、私が赴任してから3年が経ちそして、かばらデイサービスセンターも8月1日で15周年を無事迎えることができました。これも偏にご利用者様・ご家族様はじめ、近隣地域の皆様温かいご支援とご協力があつたからこそと心から感謝致しております。

かばらデイサービスセンターでは、15周年を記念し、8月1日～8月3日までの3日間に、記念行事を開催いたしました。



を重ね披露した踊りは、笑いがある？本格的な化粧と浴衣姿が大変合い、笑顔と驚きを持って利用者様に好評で、何度モアンコールが起きたほどです！職員も頑張って披露したかいがありました。

15年と長い期間ですが、まだまだ20周年、30周年と目指し職員一同頑張っておりますので、今後もかばらデイサービスセンターをよろしくお願ひします。

皆様も機会があればぜひご覧に来て下さい。

かばらデイサービスセンター

施設長 小澤 孝博

健康チャレンジ

自分にあった目標をきめ、自宅で気軽にできる企画です。
期間 10月11日 締切10月16日
申込 蒲原診療所受付

第21回 平和のつどい 日本の平和を考える 吉田万三氏

第21回平和のつどいが、8月20日加平住区センターで開催され48人の参加者で会場は満員になりました。

主催団体の健康友の会、新婦人、生活と健康を守る会、東京土建の各役員さんよりあいさつがありました。

今回は、戦争が過去のものではなく現実になりそうな情勢を踏まえて、元

三さんより「日本の平和を考える」と言うテーマで、お話しをしていただきました。

北朝鮮の核開発とミサイル問題でこのまま戦争になってしまうのか？関係国の目標や思惑を考えると対話による平和的な解決が求められています。

核兵器禁止条約が国連で122カ国の賛成で成立した事は大きな意義があります。その中で日本政府は憲法改正して9条を変えて日本を戦争する国へ変えようとしています。

立場を越えた共同の市民が国を動かす時代です。以上の様に歴史的視点と国際的な視野で縦横に話していただきました。

会場から北朝鮮のミサイル発射などメディアの過激な報道で怖い思いをしていますが、今日の話を聞いて対話による解決しかない事が解り少し安心したと感想がありました。

核廃絶の署名を集めたり、憲法9条を守る市民運動こそ平和への近道ですね。

ご高齢の方にプレゼントがあり、すいとおにぎりに大好評でした。作ってくださった皆さんありがとうございました。又来年楽しみにしています。



担当 仙石 美智子

私の故郷 「東京大空襲の記憶」その2



私たちが家族は伯父さんが持つて来た大八車に乗せられて、足立区伊興町までやって来ました。そこには父のおばあちゃんの家があり、そこに居候することになったからです。おばあちゃんの家は田んぼと畑ばかりの田舎でした。そのおばあちゃんには95歳でしたが一人で畑を耕し、一人暮らしをしている恐い人でした。母は父が帰って来るまで

の我慢と思い辛抱する覚悟で苦労に耐えました。私たちが子供も従いました。栃木の母の実家に帰ることを私たちは楽しみにしていました。私たちがより一足先に疎開している兄に会いたかつたからです。

そんな中、昭和20年8月15日に終戦を迎えました。そして私は小学2年生になり伊興小学校に入りました。当時の伊興地域は農村で子供たちは雨が降ると素足で学校に来るような田舎でした。そんなこともあり疎開してきた私たちは「東京者」と呼ばれ、わざわざ見せ物を見るように押しかけられたこともありました。

担当 藤村 節子

続く